

第170回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [丸数字は予想配点、合計52点]

問 1

- ① 伝統的原価計算においては製造間接費の金額は僅少であったが、FA化やCIMIにより、製造間接費の金額が多額になり、直接労務費等の金額が少なくなったため、ABCが登場した。

③

②

①	生産単位レベルコスト	③
②	バッチレベルコスト	③
③	製品維持コスト	③
④	施設維持コスト	③

- ③ 問題点： 伝統的原価計算によれば、用役提供量が多くても生産量が少ない製品には少額が配賦され、用役提供量が少なくても生産量が多い製品には多額の金額が配賦される。③

問 2

①

活 動	配賦額(円)	
契 約	980,000	④
発 注	1,734,000	④
受入検収	812,000	④
検 査	584,000	④

②

製 品	配賦額(円)	
P	2,374,878	④
Q	1,735,122	④

問題 2 [丸数字は予想配点、合計33点]

問 1

①	12,750,000	円	④
②	62.5	%	④
③	1.6		④
④	10,540,000	円	②

- ④の計算プロセス： $営業利益 8,500,000 円 \times 売上高増加率 15\% \times DOL 1.6 = 2,040,000 円$
 $2,040,000 円 + 8,500,000 円 = 10,540,000 円$

【完答で②】

問2 ① 損益分岐点比率 % ③

② (・弱まる) ③

根拠： 安全余裕率が 62.5% から 67.2% に上昇するため。

別解：「営業レバレッジが 1.6 から 1.48 と低くなるため」 ⑥

問題3 [丸数字は予想配点、合計15点]

Xの生産量 個 ⑤

Yの生産量 個 ⑤

売上高営業利益率 % ⑤